

教科(科目)	福祉 (福祉情報活用 )	実施学年 (履修規定)	第1学年 (必修)
単位数	福祉科 2単位	教科書	福祉情報処理 (実教出版)
		副教材	
科目の目標	社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させるとともに、情報処理に関する知識と技術を習得させ、福祉の各分野で情報及び情報手段を活用する能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	・情報機器や情報ネットワークを活用する基礎的な知識と技術を習得させ、社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させるとともに、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	高度情報化時代と福祉サービス	1 高度通信情報化社会 2 コンピュータの利用と福祉サービス 3 情報モラルとセキュリティ	・アンケート ・学習プリント	・福祉情報処理を学ぶ目的を理解している。 ・情報モラルの向上とセキュリティ管理の重要性について理解している。
5	コンピュータのしくみと活用	1 コンピューターのしくみ (1) コンピューターの機能 (2) ソフトウェアについて	・確認テスト ・学習プリント	・コンピュータの基本機能や周辺機器を理解している。
中間考査 (内容把握, 学ぶ目的把握)				
6 7		2 コンピューターによる情報処理 (1) ワープロソフトの活用	・実技評価 ・学習プリント ・自己評価	・一太郎の基本的な機能や操作方法を理解し、速く正確に入力することができる。
期末考査 (内容把握, 学ぶ目的把握)				
8	夏季休業			
9			・実技評価 ・自己評価	・簡単な文書作成することができる。
10		(2) 表計算ソフトの活用	・実技評価 ・学習プリント ・自己評価	・エクセルの基本的機能や操作方法を理解し、簡単なデータ処理や表作成をすることができる。
中間考査 (内容把握, 学ぶ目的把握)				
11 12	福祉サービスと情報機器の活用	1 情報の収集, 処理, 発信	・学習プリント ・自己評価	・地域の高齢化問題等について情報を収集している。 ・収集した情報を表作成する。 ・画像や図表などでわかりやすく表している。
期末考査 (内容把握, 学ぶ目的把握)				
1 2 3		2 福祉サービスの各分野におけるコンピュータの活用 ※インターネット学習	・確認テスト ・学習プリント	・インターネットを使つての情報収集を行い、その処理を行うことができる。著作権についても理解している。 ・福祉情報ネットワークやボランティア情報についてまとめている。
学年末考査				

## 評価の観点及び趣旨

### ① 関心・意欲・態度

福祉情報に対する関心を持ち、福祉社会に向けた課題に意欲的に取り組み、福祉の各分野で情報および情報手段を活用する能力と態度を身につけている。

### ② 思考・判断

日常生活の諸課題と福祉情報との関わりに関して思考を深め、福祉サービスとコンピュータの活用について考察することができる。

### ③ 技能・表現

福祉に関する様々な情報通信ネットワークを利用した情報を適切に選択・処理し、その結果をわかりやすく表現することができる。

### ④ 知識・理解

現代社会における情報化の進展について把握し、情報処理に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、福祉情報の意義、役割を理解している。

## 「福祉情報処理」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	20%程度	② 思考・判断	20%程度
③ 技能・表現	40%程度	④ 知識・判断	20%程度